　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和2年8月13日

関係各位

抗凝固薬・抗血小板薬の処方漏れに関するお願い

平素より大変お世話になっております。

抗凝固薬・抗血小板薬は、脳梗塞・心筋梗塞・狭心症、心房細動、深部静脈血栓症、肺梗塞、人工弁置換術後などの治療薬・予防薬として処方される重要な薬です。

手術時は、出血リスクを減らすために原則として術前から抗凝固薬・抗血小板薬の服用を中止することが推奨されていますが、抗凝固薬・抗血小板薬を中止することは、血栓症の発症・再発につながるおそれがあります。

術後にほとんどの場合再開しますが、処方漏れにより抗凝固薬・抗血小板薬が再開されなかったために、脳梗塞を発症した事例が全国的に起こっています。

再開漏れを無くすために、以下のことを院外薬局の皆様にご協力いただけませんでしょうか。

1. 抗凝固薬・抗血小板薬の服用患者の目印をお薬手帳の表紙に付ける。
2. 院外処方箋の調剤時に抗凝固薬・抗血小板薬の処方漏れがあった場合は、処方した医師へ疑義照会をしていただく。

よろしくお願いします。

福岡東医療センター

　　院長　　中根　博